

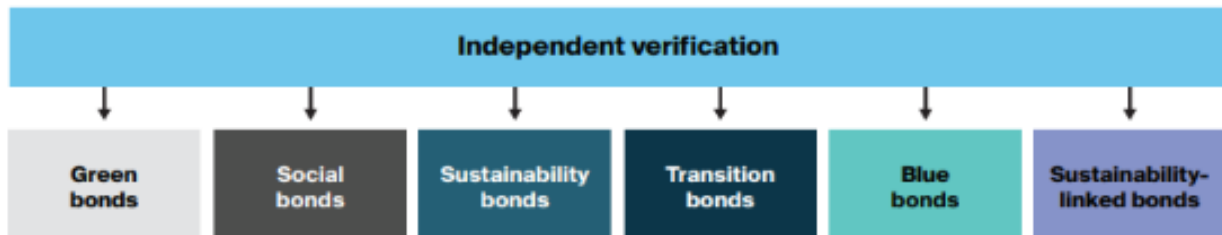


## サステナブル債券データ

投資家は自らの資金をサステナビリティ目標に活かす方法を探っており、サステナブル債券の発行がは増加傾向にあります。資産運用会社は、方針やマニデートに適合した適切な投資商品特定する方法とともに、顧客への洞察のある定期報告を円滑に行い、プロジェクトのインパクト報告に透明性を確保するソリューションを求めています。

この市場により高い透明性をもたらすため、ICEのサステナブル債券分類サービスは、業界に認知されたサステナブル債券フレームワークに沿ったデータを提供します。お客様は、サステナブル債券分類サービスのほかに、プロジェクトの詳細、資金配分レポート、インパクト・レポートのデータが含まれるICEサステナブル債券資金使途データサービスも取得することができます。

サステナブル債券データセットは単独で使用することもできますが、顧客への洞察のある定期報告を円滑に行い、プロジェクトのインパクト報告に透明性を確保するソリューションを求めています。



## 利用事例

お客様がワークフローの中でサステナビリティボンド・データを使用する方法。

| リサーチおよび銘柄選定   | ポートフォリオまたはサステナビリティの報告  | コンプライアンス  | 起債チーム  | ETFの組成  |
|---|--|---|--|---|
| クライアントのマネージャーと社内 ESG 投資方針に整合した潜在的投資目標の分析。ファンドに債券を選定するにせよ、クライアント主導のインパクト要件を充足するにせよ、ICE のサステナブルボンド・データが銘柄選定判断に有益な情報を提供。 | サステナブルボンドを特定する詳細データ、およびステークホルダーや投資家に報告するためのプロジェクトの性質と実世界における前向きな貢献度の評価。個別投資の全体的有効性（金額当たりのインパクト）とポートフォリオの全体的インパクトを直接比較 <sup>1</sup> 。 | 発行からプロジェクト完了までをフォローし、目標が継続的に遵守されているか、または事前にコミットされた分野への投資が行われているかを監視。サステナブルラベルの適用可能性を検証。セカンドパーティ・オピニオン <sup>2</sup> を入手し、詳細報告を検証した箇所を特定。 | 以前のサステナブルボンドやローンの特徴と指標を計画中の債券発行プログラムとの参照として利用。業界のベストプラクティスを特定。 | サステナブルボンドのインデックスに連動する ETF のマネージャーは、債券資金の用途を検証するよりアクティブな戦略を取り、移行への貢献度を追跡することを望む可能性がある。また、ETF のマネージャーは、組入れのインパクトの認知度によって構成銘柄をランク付けしようとする可能性がある。 |

## 特徴

**カバレッジ** - 14,000 銘柄以上の社債、国債、スープレナショナル債<sup>3</sup>および 24,000 銘柄以上の地方債<sup>4</sup>をカバーする広範なデータベースにより、業界で認知されたサステナブルボンドのフレームワークに準拠し独立して検証された債券を特定します。サステナブルボンド分類サービスは、債券発行体を使用する業界のフレームワークを提供し、セカンドパーティ・オピニオン<sup>5</sup>を特定しつつ、サステナブルボンドを構造化します。

**完全かつタイムリーなデータ** - 弊社は、継続的に情報源を監視し、新規のサステナブルボンド発行を見つけ、商品文書と独立検証者からの報告を分析することによりデータ属性のカバレッジを拡大しています。新規発行のサステナブルボンドは、日中に利用可能になります。

**資金用途データの利用<sup>6</sup>** - プロジェクトの分類、資金アロケーションの詳細またはインパクトレポートデータが提供できる追加モジュールです。グローバルのコーポレート、ソブリンおよびスープレナショナルのサステナブルボンドをカバーしています。ICE のアナリティクス・ダッシュボードが、個別債券のインパクトと国連持続可能な開発目標への整合性を計算します。ユーザーは、7年を超える履歴を利用して、報告されたインパクトの債券間の比較を前年比で行うことができます。

1 インパクト報告の事例はこちら：[https://www.gpif.go.jp/en/investment/esg/gpif\\_publishes\\_the\\_2023\\_esg\\_report.html](https://www.gpif.go.jp/en/investment/esg/gpif_publishes_the_2023_esg_report.html)

2 セカンドパーティ・オピニオンとは、インパクトボンド市場のガイドラインとのアライメントについて独立した第三者による検証を求めることを指します。

3 2024年7月現在のカバレッジ

4 2024年5月現在のカバレッジ

5 セカンドパーティ・オピニオンとは、インパクトボンド市場のガイドラインとのアライメントについて独立した第三者による検証を求めることを指します。

6 資金用途データは、ルクセンブルク証券取引所と提携して提供されます。

| プロジェクトデータ   | アロケーションレポート   | インパクトレポート   |
|---|---|---|
| <p>以下をカバーする詳細なデータポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資金使途に基づく 100 を超えるプロジェクト分類</li> <li>■ 国連持続可能な開発目標への貢献を目指す</li> <li>■ 資金の利用対象から除外されるプロジェクトのカテゴリー</li> <li>■ EU タクソノミーとのアライメント</li> </ul> | <p>資金内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 報告期間ごとの資金配分</li> <li>■ リファイナンス、設備投資やその他の支出への資金の利用</li> <li>■ 未配分の資金</li> <li>■ 独立レビューアーの詳細</li> <li>■ 債券プールの定義と総量</li> </ul> | <p>以下を含む発行後報告：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクトの成果を特定する計測可能なインパクト指標</li> <li>■ インパクト報告メソッドロジー（プロジェクトごと、国ごと、その他のカテゴリー）</li> <li>■ SDGs への貢献度</li> <li>■ EU タクソノミー目標への貢献度</li> <li>■ 基準と原則に対するアライメントを報告</li> </ul> |

## 弊社のサービス


ICE サステナブルボンド・アナリティクス・ダッシュボードを利用して、ユーザーは、選定したポートフォリオによる資金提供の環境および社会的インパクトを、サステナビリティ目標を持つプロジェクトに資金提供することを目的として掲げる債券へのポートフォリオの投資に基づいて評価できます。

ユーザーは、サステナブルボンド種別により投資ポートフォリオの内訳を作成し、投資金額やポートフォリオにおける投資割合を、プロジェクト分類、インパクト指標、報告状況や国連持続可能な開発目標といった債券の主要指標にして分析できます。



## 配信

テクノロジーとワークフロー要件に合せた柔軟なデータ配信フォーマットには、弊社のユーザーフレンドリーなウェブベースのユーザーインターフェース、サステナブルファイナンス・ポータルとともに XML やフラットファイル、API が含まれます。スクリーン機能により、ユーザーはポートフォリオをアップロードし、銘柄属性を検索、フィルター、比較し、関連するサステナビリティ要因を調べるため、発行体の ESG 特性にまで結びつけることができます。

 詳細情報は：[ice.com/sustainable-finance-data](https://ice.com/sustainable-finance-data)

本書には、Intercontinental Exchange, Inc. および/またはその関連会社の機密の専有財産である情報および/または営業秘密が含まれており、Intercontinental Exchange, Inc. および/またはその関連会社の明示的な書面による同意なしに、出版、複製、複写、開示または使用してはなりません。本書は、情報提供目的に限定して提供されています。本書に記載される情報の一部は、開発の途上にあるため、Intercontinental Exchange Inc. および/またはその関連会社の単独の裁量に従い最終的に開発される可能性のあるサービスおよび/またはメソッドロジーは、本書に含まれる記述とはかけ離れる可能性があり、全く開発されない可能性もあります。ここに記載される情報は変更される可能性があり、いかなる形式の保証、表明、約束も構成するものではありません。本書に記載されるいかなる内容も、Intercontinental Exchange, Inc. および/またはその関連会社と、本書に記載される商品またはサービスに関連するそれぞれの顧客との間の契約に含まれる法的権利および義務を変更するとみなされるものではありません。

ません。本書のいかなる内容も、法務、税務、会計、投資やその他の専門的助言を構成することを意図していません。顧客は、固有の法務、税務、会計の状況に関して、法務、税務、会計の専門家と相談する必要があります。

Intercontinental Exchange, Inc. およびその関連会社は、商品性、特定目的への適合性、またはその他のいかなる事項に関しても、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。上記を制限することなく、Intercontinental Exchange, Inc. およびその関連会社は、自身が供給を受けるか供給するいかなるデータまたは情報（評価を含むが、これに限定されない）が完全であることや、エラー、脱落、欠陥がないことについて表明も保証もしません。

Intercontinental Exchange, Inc. および／またはその関連会社の商標には、Intercontinental Exchange、ICE、ICE block design、NYSE、ICE Data Services、ICE Data および New York Stock Exchange などが含まれます。Intercontinental Exchange, Inc. および／またはその関連会社の追加的商標および知的財産権に関する情報は、[ice.com/terms-of-use](https://ice.com/terms-of-use) にあります。本書に述べられたその他の商品、サービスまたは会社名は、それぞれの所有者の財産であり、サービスマークまたは商標である可能性があります。

この文書は英語版を翻訳したものです。英語原文と日本語訳文との間に齟齬がある場合には、いずれも英語原文が優先するものとします。